

Information 10

今回は犬&猫の“便”についてのお話です。

便は動物達にとって大事な**健康の証**になります！！

自分の子の便をよく観察できていますか？

“うんち”のココをチェックしよう♪

◇ 硬さや形

通常良い便として表現されるのが

『**ほどよい硬さの円柱状**』で想像通りの便です。

次のような便が出たらこんな表現で教えてください！

- ✓液状
- ✓泥状
- ✓形なしの粘土状
- ✓形ありやわらかめ
- ✓硬くコロコロで表面に粘り気なし



◇ 一回量

いつもと同じ量ですか？

食べる量や物で変化はあります。



◇ 付着物

基本付着物は着きません！

血液・多量の粘液・寄生虫など…



◇ 色

通常は**茶・焦げ茶**と人と同じ。

赤・黒・黄・灰白と変わった色は要注意！

◇ 臭い

いつもと違う異臭がないか

健康な便になるために、大切な臓器があります。

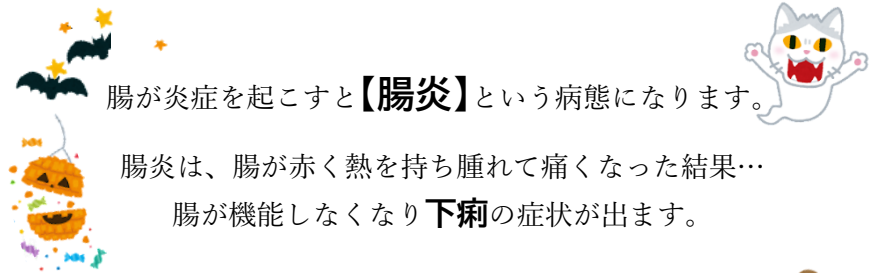
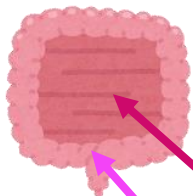
それが**“腸”**です！

胃の次に繋がる消化管が腸になっています。

腸は**小腸**と**大腸**の2つに分かれそれぞれ役割があり、

小腸は、水を含めたほとんどの栄養素を吸収する臓器

大腸は、小腸で吸収できなかった水の吸収を主にする臓器



腸が炎症を起こすと**【腸炎】**という病態になります。

腸炎は、腸が赤く熱を持ち腫れて痛くなった結果…

腸が機能しなくなり**下痢**の症状が出ます。

腸は**小腸**と**大腸**があるように腸炎も

“小腸炎”と**“大腸炎”**があります！



それぞれ便に対して特徴のある症状が…

	小腸炎	大腸炎
便の回数	普通	多い
便の量	多い	普通～少し増える
嘔吐	あり	なし
付着物	なし	あり
痛み	なし	あり

他にも、腹痛・発熱・嘔吐・食欲不振などの症状も診られます。



下痢の様子見は**3日**まで!!

ジャーキーなど脂っこいおやつを食べ過ぎるのも要注意。

脂肪は水に溶けにくく、消化も複雑なため吸収しにくいのです。

悪化すると命に関わる**“膵炎”**になってしまう可能性もあります。

脱水にもなりかねないので、早めに対応を！

